



平成20年12月5日
内閣府沖縄振興局
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構
ウィンターコース “生物複雑系の進化” 開催について

標記について下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 <スクール> 平成20年12月 8日(月)～12月12日(金) 午前まで
<ワークショップ> 平成20年12月12日(金)午後～12月14日(日)
2. 場 所 OIST シーサイドハウス 1F セミナールーム
(沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542) * 旧白雲荘
3. タイトル OIST Winter Course “Evolution of Complex Systems”
(OIST ウィンターコース “生物複雑系の進化”)
4. 概 要 沖縄県恩納村にあるOISTシーサイドハウスにて、動物の発生と進化に関する集中コースを開催します。
当コースはスクールとワークショップの2つから構成され、12月8日～12日午前まではこの分野を代表する講師陣6名によるレクチャーを中心としたスクールを行い、世界中から公募で選ばれた若手研究者と大学院生15名が受講生として参加予定です。
その後12日午後と13日にはワークショップを行い、スクール参加者のうちの8名に、主に日本国内の若手研究者6名を加えた総勢14名が、研究発表を行い、各々の発表内容に関して議論します。
なお14日は、参加者の帰国日のため、各人出発までの時間に自由に議論を行うこととなっています。
本コースの企画・運営は、沖縄科学技術研究基盤整備機構のシドニー・ブレナー理事長及び佐藤矩行博士をはじめとする、代表研究者4名が担当します。
5. 取材方法 別紙1の取材要領に従ってください。

【本件連絡先】	内閣府沖縄振興局 新大学院大学企画推進室 田中、漢那 独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構 具志堅、名取 電話(代表) 098-966-8711 FAX 098-966-8717 E-mail chiaki.gushiken@oist.jp kaoru.natori@oist.jp
---------	--

沖縄科学技術大学院大学に関連するウィンターコース取材要領

1. 取材が可能なセッション

取材及びカメラ撮りは、以下のセッションにおいて可能です。但し、テレビカメラについては1社につき1台までとさせていただきます。

12月8日(月) 10:00~11:30 代表研究者 佐藤矩行博士による講義
“An overview of the evolution of complex systems of animals”
※但し、カメラ撮影は冒頭30分間のみ

12月12日(金) 9:30~10:30 OIST 理事長 シドニー・ブレナー博士による講義
“Evolution of Gene and Genome”
※但し、カメラ撮影は冒頭20分間のみ

*ブレナー理事長、佐藤博士の略歴は別紙2をご参照ください。

2. 登録

事前連絡は必要ありません。

当日、入場される方は、全員必ず報道機関の腕章を着用し、入り口の受付にて受付を済ませた上で、入場ください。腕章のない方は、会場警備の都合上、入場をお断りする場合があります。

3. 撮影場所の指定

1. のセッションについて、撮影に当たっては、係員の指示に従っていただくようお願いいたします。

4. 音声の収録

1. のセッションについて、音声ジャックは使用できません。報道各社によるガンマイク等の使用は可能ですが、音声の収録に当たっては、くれぐれもプログラムの進行の妨げにならないよう配慮をお願いします。

5. 参加者への個別インタビュー

セミナールーム内での個別インタビューはご遠慮ください。

参加者への個別インタビューについては、事前に本人の了解を得て行ってください。

6. 留意事項

上記1のいずれのセッションにおいても通訳はありません。

報道関係者控え室はありません。

シドニー・ブレナー理事長

1927年南アフリカ生まれ。1954年にオックスフォード大学にて博士号取得。これまで、英国医学研究機構 分子生物学研究所長、同分子遺伝学ユニット所長、米国分子科学研究所所長、ソーク研究所教授などを歴任。1990年に日本において、京都賞を受賞。2002年には「器官発生と、プログラムされた細胞死の遺伝制御に関する発見」により、ノーベル賞受賞(生理学・医学賞)。2007年に日本学士院客員に選定。2005年に独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構 理事長に就任。

佐藤矩行 博士

2008年度4月、沖縄科学技術研究基盤整備機構のマリンゲノミクス・ユニットの代表研究者に着任。脊索動物の起源と進化に関する比較ゲノム科学的研究、ホヤを研究材料とした脊索動物の体制の構築に関わる発生ゲノム科学的研究、および環境応答を制御する遺伝子・分子の相互作用に関する環境ゲノム科学的研究を行う。佐藤博士は1974年に東京大学大学院理学研究科博士課程を経て、京都大学理学部助手(動物学教室)、同助教授を経て、1994年に同教授に就任した。研究のかたわら、日本動物学会会長(2007年～)や同学会誌 *Zoological Science* の編集主幹(1997～1999年)、*Development Genes and Evolution* 誌の編集委員(1994年～)など、数々の職務を歴任している。2005年には、生物の発生・進化と比較動物学の分野で大きな業績を挙げた研究者に贈られる国際賞「アレキサンダー・コワレフスキーメダル」を日本人研究者として初めて受賞している。